

社会福祉法人白ゆり共生会

施設長 亀田盛治さん、職業指導員 高橋友恵さん

## ワークステーションきたかみ

〒024-0333 岩手県北上市和賀町長沼 6-146  
☎0197-72-6113 平成 26 年 4 月 1 日設立  
事業内容：就労継続支援（B 型）事業、生活介護事業就労系活動内容：自主事業（食品製造、手芸品制作、資源回収）、受託事業（象がん、野菜袋詰め、ウエス加工、ケバ取りなど）



玄関に入ると手作り看板。この施設の愛情が感じられる。

さしこづくりは手先の運動としても効果的。

## 今より豊かな生活をおくらせてあげたい。よりそう福祉施設。

〈ワークステーションきたかみ〉は NPO 法人の身体障がい者の通所施設として開所した施設で、現在は社会福祉法人となり知的障がいや精神、身体障がいの方が通所しています。

この施設の特徴は「おやき」の製造です。おやきというと信州（長野県）の郷土料理ですが、その経緯を施設長に聞いてみました。

「前の施設長が利用者への工賃を上げるためには自社商品が必要！と施設内で作る商品を探していました。地元の食材を使い他にはない商品をと考えアスパラや里芋などを使った商品が出来ないか探していた。そんな中、たまたま長野の“おやき”に巡り合いました。長野でおやき屋をしている方を講師として招き、本場のつくり方を学び、製造をはじめました。北上産の原料で作ったアスパラやきんぴら、切り干し大根などを入れ、味もカレーや粒あんなどいろいろチャレンジしています。東日本大震災があったこともあり〈福幸おやき〉と命名しました。」

自主事業は食品製造のほかに、手芸品制作、資源回収があり、〈北上お試し BOX まごころ版〉に出品している〈鬼剣舞刺し子（おにけんばいさしこ）〉もその一つです。とても細かい作業だけに 1 日に数枚程度しか作れないのです。

ちなみに、「鬼剣舞」は北上に昔から伝わる伝統芸能で子どもから大人まで多くの市民が踊れます。また、北上翔南高校の鬼剣舞部は平成 24 年の第 36 回全国高総文祭の郷土芸能部門で見事、最優秀賞を受賞するほどの強豪チームです。

受託事業は、象がんやウエス加工、ケバ取り。野菜の袋詰め作業もあり、アスパラやネギの結束作業を行っています。

施設の課題は、作業場が 2 階にあるためどうしても上に上げられる軽いものしか作業が出来ないこと。自ずと小さなものや軽いものの作業しかできないのが難点です。

現在 8 年目の職業指導員の高橋友恵さんに仕事で難しいと思うことは何かと聞いてみました。

「中には就職しなくても生活できてしまう人がいます。そんな方に仕事をして収入をあげれば今より豊かな生活が出来るということを意識させることです。」

障害もいろいろで、当然利用者の性格もばらばらです。マニュアルがあっても通用する世界ではなく、そのために定期的に〈ケース会議〉を実施し、利用者のケースに合わせて対処策を考えています。そんな職員たちの日々の丁寧な対応が健全な施設運営に繋がっているのでしょう。